

第17回 常民文化研究講座 渋沢敬三の民具研究

〇趣 旨

日本常民文化研究所は、1921年、渋沢敬三により“アチック・ミュージアム・ソサエティ”として創立された。以来、研究所の活動は、民具や絵画を用いた非文字資料研究および海村史料による海域海民史研究といった常民文化をおもな対象としてきた。とくに民具研究は口頭伝承を重視する柳田民俗学ではあまり注目されることのなかったモノ資料に注目したもので、その先駆性は高く評価され、今なお研究所は日本における民具研究の拠点として内外に知られている。そうした研究方針の策定と大きくかかわり、また実際に研究を主導してきたのが渋沢敬三である。1982年に神奈川大学の付属研究所となって以降もその研究姿勢は受けつがれている。

そこで、本年度の常民文化研究講座では、没後50周年を記念し、渋沢敬三の担った民具研究についてシンポジウムを開催することとした。それは、たんに渋沢の功績を顕彰するにとどまらず、その後の民具研究のあり方とのかかわりについても検証をおこなうものとする。

なお、本年度は神奈川大学において日本民具学会大会を招致することもあり、本シンポジウムを広く周知するため、日本民具学会との共催によりおこなうこととした。さらに、本シンポジウムは、渋沢資料館や国

立民族学博物館による一連の渋沢敬三没後50周年記念事業にも位置づけられる。

〇日 時 2013年11月9日(土) 13:00～17:00

〇場 所 神奈川大学横浜キャンパス 8号館822教室

〇内 容

・基調講演 佐野賢治(神奈川大学)

・パネル報告

「民具研究の萌芽」 小島摩文(鹿児島純心大学)

「低湿地文化論の現在」 大門 哲(石川県立歴史博物館)

「農漁民の提唱」 秋山笑子(千葉県立中央博物館)

・総合討論 コーディネーター 刈田 均・高橋典子(日本民具学会)

※報告のテーマは変更することがあります。

共催：神奈川大学日本常民文化研究所・日本民具学会

お問い合わせは、日本常民文化研究所

TEL: 045-481-5661 (内線4353)

神奈川大学国際常民文化研究機構 第5回 国際シンポジウム 「渋沢敬三の資料学 - 日常史の構築 -」

第Ⅰ部：国際シンポジウム「庶民・日常への眼差し—世界常民学への道—」

第Ⅱ部：公開研究会「ビジュアル資料と渋沢敬三—アチックフィルム・写真からの展望—」

日時：第Ⅰ部：2013年12月7日(土) 10:00～17:15

第Ⅱ部：2013年12月8日(日) 10:00～17:15

場所：第Ⅰ部：神奈川大学横浜キャンパス16号館セレストホール

第Ⅱ部：神奈川大学横浜キャンパス16号館視聴覚ホールB

第Ⅰ部 国際シンポジウム「庶民・日常への眼差し—世界常民学への道—」

基調講演 ヨーゼフ・クライナー(ボン大学 名誉教授)

パネル報告 曹幸穂(中国・農業博物館前館長)、ジョセフ・キブルツ(フランス・フランス国立科学研究センター)、宮本瑞夫(宮本記念財団)、福岡正太(国立民族学博物館)、崔順権(韓国・国立民族博物館)

コメント 崔吉城(広島大学 名誉教授)、佐藤健二(東京大学 教授)

第Ⅱ部 「アチックフィルム・写真にみるモノ・身体・表象」グループ公開研究会「ビジュアル資料と渋沢敬三—アチックフィルム・写真からの展望—」(仮題)

研究報告 高城玲(神奈川大学)、原田健一(新潟大学)、井上潤(渋沢史料館)、飯田卓(国立民族学博物館)、小島摩文(鹿児島純心女子大学)、清水郁郎(芝浦工業大学)、小林光一郎(日本常民文化研究所)、羽毛田智幸(横浜市歴史博物館)

コメント 小川直之(國學院大学)

主催：神奈川大学国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所

*上記の内容は変更することがございますので、予めご了承ください。

*開催に関する詳細はホームページをご参照ください。

お問い合わせは、神奈川大学 国際常民文化研究機構 事務局

TEL: 045-481-5661 (内線6111～6112)

神奈川大学歴民調査報告第14集 中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅱ

●2012年3月31日発行 A4判138ページ

●発行：神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所

●内容：「中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅰ」に続き、2011年に実施した中国湖南省藍山県の過山系ヤオ族に伝承されているイニシエーションの還家感儀礼に関する調査報告書である。儀礼の実施とそこで使用される文献の両面から、ヤオ族の儀礼知識の全容を明らかにする取り組みである。

神奈川大学歴民調査報告第16集 戦後開拓—長野県下伊那郡増野原— —オーラルヒストリーからのアプローチ—

●2013年3月30日発行 A4版227ページ

●発行：神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所

●内容：長野県下伊那郡増野原を対象とした戦後開拓の調査報告である。神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究所森武磨ゼミナールと地元飯田市の研究者との合同調査によって、戦後開拓を、聞き書きを中心とした、オーラルヒストリーによって描いたものである。

非文字資料研究 No.30

発行日 2013年7月25日発行

編集・発行 神奈川大学 非文字資料研究センター

Research Center for Nonwritten Cultural Materials,
Institute for the Study of Japanese Folk Culture, Kanagawa University

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

■Tel.045-481-5661 ■Fax.045-491-0659 ■URL <http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>

